

徳島ペンクラブ通信

発行
徳島ペンクラブ

徳島市東沖洲2丁目1-13
徳島県教育印刷(株)内
TEL 088-664-6776

183号

2019年7月1日
(令和元年)

1967年(昭和42年)創立

令和元年度総会を開催

●提案された議案を満場一致で承認●

徳島ペンクラブの令和元年度総会が5月19日午後4時より阿波観光ホテルで開催されました。丁山俊彦会長の開会挨拶の後、本会の鈴木綾子副会長

が「こころ鴉色にそめて」と題して講演。



小休憩に引き続き丁山俊彦会長の議長に選出し、「とくしま随筆大賞」などの

平成30年度事業報告及び決算報告、会計監査報告が行われ承認されました。次いで「随筆大賞20周年記念作品集の発刊」「第21回県民文化祭分野別フェスティバル」などを含む令和元年度事業計画案及び予算案の説明があり、いずれも承認されました。(議案の詳細については、4頁から7頁をご参照ください)

総会後に開かれた懇親会では、新会員が紹介されるなど和やかな時を過ごし、午後8時に閉会しました。

鈴木綾子さん講演

総会に先立って鈴木綾子さんの講演がありました。会員以外の人も聞きに来るほど人気の講演でした。内容の詳しいことはペンクラブ選集に掲載



されますが、概要は「命の重み」がテーマでした。若くして亡くなった長男の闘病と、家族の献身的な支えと愛の話に、思わず涙

ぐむ聴衆もいました。県内各地の小中学校・各種団体で講演され、多くの人たちに感動を与えられた内容に、あらためて深い敬意を覚えられました。

遺作となったグラフィックアートのポストカードもいただくことができ、参加された方々のよい記念にもなりました。



県民文化祭の案内

恒例の秋のイベントは 「徳島の歴史的建造物の魅力」

■ 令和元年10月13日(日)、14日(月) ■ 徳島県立文学書道館 1F ギャラリー

毎年、徳島県民文化祭分野別フェスティバルに参加協力していますが、今年も徳島県の助成金を受け、つぎのとおり開催することに決まりました。

テーマは、徳島県の建造物を取り上げます。本県には「国宝」といった全国的に知られる建造物は少ないですが、それに匹敵するような建造物は各地に種々存在しております。古墳をはじめ城砦、寺院、神社、学校、隧道、旅館、橋梁、駅舎、灯台、水門など人の営みの中で築造された多くの建造物があります。その中には藍寝床や農村舞台、潜水橋、遍路小屋など阿波徳島独特のものも多く見受けられます。県下各地に点在する魅力ある建造物を写真と文章によって紹介します。最終日には、森兼三郎先生による「徳島の建造物について」の講演も予定しています。

展示数
約50点
(予定)



旧徳島県庁（徳島市八万町）



鳥居龍蔵ドルメン（鳴門市撫養町）



桜間の碑（名西郡石井町）

第1回

まちかど朗読会開催
ふるさとを読む

参加70名を超え、聴き入る



6月16日(日)午後1時30分より徳島ペンクラブの新規事業「まちかど朗読会」を開催しました。徳島ペンクラブ選集36に掲載された作品が単に読まれるだけではなく、朗読することによって違った魅力が引き出せるのではないかと、朗読会を企画しました。そこから、「より多くの人に気軽に参加して欲しい」というコンセプトに基づき、会場をアミコビル2階ミーティングルームにセッティング。

第1回ということで危惧された参加者も、開始30分前から来場者が相次ぎ、70名を超える参加がありました。

「朗読サロンことだま」に所属するメンバーが17作品を選び、朗読。作者に寄り添った抒情豊かな朗読に、会場を訪れた聴衆は、誰一人席を立つこともなく、最後の一編まで聞き入っていました。



わが家の近くにある成願寺じょうがんじというお寺には数本の桜の木があり、毎年のようにこぼれつきそうなピンクの花がさきます。そんな季節に驚きのニュースです。

2019年3月21日、本当に「凄い」人と言えるイチローさんが引退されました。野球に疎い私は、テレビに次々と流れるニュースに目を見張るばかりでした。その引退会見でのイチローさんの言葉で、一番心に残ったのは「後悔などあるはずがない」でした。やっぱり凄い人だと納得してしまいました。

その数日後、私はコンビニで「Number」という雑誌を見つけました。イチロー戦記(1992〜2019)長き戦いを終えてとあり、不滅の記録の数々、インタビュール記事、写真、著名人のイチロー談義など満載でした。その中で私が思わず「ふ、ふ」

イチローさん

と笑ってしまったイチローさんのかわいい所。

「イチローの登録名を変えた最初は、各球場でアナウンサーの度に笑われたが、それが歓声に変わっていく様子を目にするのは、めちゃくちゃ気持ちよかったです」。

更に、私の心に響いたのはイチローさんがゲームの前には必ず、奥様の握ったおにぎりを一個食べてから出られたということだ。

そのおにぎりの数、なんと通算すれば2800個にもなったとのこと、驚きです。

日々夫の活躍を願う、体調を気遣いながら握った愛のおにぎりは、イチローさんの大きな力となったのです。その奥様のことを

「一緒に戦ってくれていましたからね。僕よりしんどかったですと想います」とねぎらうイチローさん。まだまだ若い46歳。好きな草野球を存分に楽しんで欲しいと考えます。

来年の桜の季節にはご夫婦仲良く、桜を見上げながらお花見など如何でしょうか。

(山形靖子)

平成30年度 徳島ペンクラブ事業報告

月	日	事業	詳細
4月	13日	県民文化祭 第2回企画委員会	イベント企画開始 テーマ決定
	30日	文学散歩	「徳島橋づくし」
		第19回とくしま随筆大賞募集開始	広報・各種マスコミ・学校関係
	初旬	① ペンクラブ通信 No.179発行	ペンクラブ賞授賞式・研修会・文学碑パネル展他
5月	3日	県民文化祭 第3回企画委員会	展示内容 役員体制
	20日	徳島ペンクラブ総会 於：阿波観光ホテル	第1部 講演 内部講師 板東浩氏 テーマ「日野原イズムと音楽で健やかなベースエイジングを」 第2部 総会 第3部 懇親会
6月	30日	とくしま随筆大賞 応募メ切	
		県民文化祭 第4回企画委員会	
7月	10日	② ペンクラブ通信 No.180発行	
		とくしま随筆大賞 審査	一次審査 二次審査
		県民文化祭 第5回企画委員会	
8月		とくしま随筆大賞 発表	入賞者発表(徳島新聞掲載・受賞者に連絡)
		ペンクラブ選集 part36 企画開始	
		県民文化祭 第6回企画委員会	
9月	9日	とくしま随筆大賞 表彰式 於：阿波観光ホテル	第1部 表彰・講評・朗読 第2部 会食
	14日	③ ペンクラブ通信 No.181発行	ペンクラブ選集 part36の原稿募集 特集案内 県民文化祭イベント・文学旅行の案内等
10月	26日	第20回県民文化祭 諸準備	展示 設営等
	27～28日	第20回県民文化祭 分野別フェスティバル・イベント 於：県立文学書道館	田中富雄生誕100年記念展 「田中富雄とその時代の作家たち」 展示・座談会・朗読会
11月		秋の文学旅行	淡路島
12月	28日	徳島ペンクラブ選集 part36 発刊	ペンクラブ賞の投票依頼：投票用紙(ハガキ) 研修会およびペンクラブ賞 表彰式の案内
2月	17日	徳島ペンクラブ賞 表彰式 於：阿波観光ホテル	第1部 表彰式 第2部 研修会 (講師：徳島新聞論説委員長 岡本光雄氏) 第3部 懇親会(ランチ会食：ペンクラブ選集について感想を語り合う)
3月		とくしま随筆大賞	募集要項作成 後援依頼

50周年記念企画 文学碑パネル巡回展		開催期間
1	吉野川市川島町図書館	4/2～4/15
2	徳島市シビックセンター	4/24～5/6
3	美波町日和佐図書・資料館	5/12～5/30
4	三好市中央図書館	6/2～6/20
5	鳴門市キョーエイ鳴門店	6/27～7/4

- ① 役員会：毎月1回実施します。
基本的に第3土曜日10：00～12：00
- ② 企画委員会：各事業については企画委員会を開いて原案を作成し、役員会で決定します。

平成30年度 収支決算

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

A 収入総額	2,362,415円
B 支出総額	2,212,020円
C 差引額	150,395円 (次年度へ繰越)

A 収入の部 (単位:円)

科 目	決 算 額	予 算 額	内 訳
会 費 収 入	665,000	650,000	平成30年度会費 665,000
負 担 金 収 入	741,000	700,000	ペンクラブ選集 part36掲載料 519,000 2頁 7,000円×56人=392,000 4頁 11,000円×6人=66,000 5頁 14,000円×2人=28,000 6頁 15,000円×1人=15,000 その他 1人=18,000 会合出席者負担金 総会 6,000円×37人=222,000
補 助 金 収 入	622,000	755,000	県民文化祭助成金 542,000 徳島新聞社 80,000
寄 付 金 収 入	16,615	3,000	文学旅行残金 3,000
雑 収 入	70,088	20,006	選集売上・預金利息
前年度繰越金	247,712	247,712	
計	2,362,415	2,375,718	

B 支出の部 (単位:円)

科 目	決 算 額	予 算 額	内 訳
事 業 費	1,200,353	1,100,000	ペンクラブ選集印刷代 776,000 ペンクラブ通信印刷費 109,795 とくしま随筆大賞関係 206,149 研修会その他 108,409
通 信 費	245,309	250,000	選集36号発送費 64,152 ペンクラブ通信発送費 55,359 その他通信費 125,798
会 議 費	289,243	300,000	総会 222,000 役員会・企画委・編集会議 67,243
諸 会 費	9,800	10,000	徳島市文化協会会費等 9,800
慶 弔 費	26,560	20,000	
事 務 費	1,777	10,000	事務用品 (インク・用紙他)
特別事業費	420,719	350,000	文学碑パネル展 47,603 県民文化祭参加事業 (田中富雄) 373,116
雑 費	18,259	40,000	振込手数料等
予 備 費	0	295,718	
計	2,212,020	2,375,718	

平成30年度の収支決算について監査の結果、適正に処理されていたことを認めます。

平成31年4月20日

会計監査 新 開 英 毅 (印)
 会計監査 二 橋 満 璃 (印)

令和元年度 徳島ペンクラブ事業計画

月	日	事業	詳細
4月		第20回とくしま随筆大賞および 富士正晴エッセイ賞 募集開始	広報・各種マスコミ・各図書館・学校関係
	初旬	① ペンクラブ通信 No.182発行	ペンクラブ賞表彰式・研修会他
5月	19日	徳島ペンクラブ総会 16:00~18:00 於：阿波観光ホテル	第1部 講演 内部講師 鈴木綾子さん テーマ「こころ鴉色にそめて」 第2部 総会 第3部 懇親会
	下旬	県民文化祭 企画委員会	
6月	16日	まちかど朗読会 13:30~15:30 於：アミコ2Fミーティングルーム	「ペンクラブ選集 part36」の随筆を 朗読団体（ことだま・さざなみ）が朗読
	30日	とくしま随筆大賞 応募締切	当日消印有効
	下旬	県民文化祭 企画委員会	
7月		とくしま随筆大賞 審査	一次審査 二次審査
		② ペンクラブ通信 No.183発行	「ペンクラブ選集 part37」の原稿募集・特集案内
		県民文化祭 企画委員会	
8月		とくしま随筆大賞 発表	入賞者発表（徳島新聞掲載・受賞者に連絡）
		ペンクラブ選集 part37 企画開始	
		県民文化祭 企画委員会	
9月	8日	とくしま随筆大賞 表彰式 10:00~14:00 於：阿波観光ホテル	第1部 表彰・講評・朗読 第2部 懇親会（ランチ会食）
10月	12日	第21回県民文化祭 諸準備18:00~	展示 設営等
	13~ 14日	第21回県民文化祭 分野別フェスティバル・イベント 於：県立文学書道館	仮称「徳島の建造物」 パネル展示・講演
		③ ペンクラブ通信 No.184発行	県民文化祭イベント・文学旅行の案内等
11月	10日	秋の文学旅行	宝塚方面（詳細は検討中）
		随筆大賞20周年記念「作品集」発刊	第1回~第20回 随筆大賞・準大賞の作品
12月	下旬	徳島ペンクラブ選集 part37 発刊	（同封書類） 随筆大賞20周年記念「作品集」 ペンクラブ賞の投票依頼・投票用紙（ハガキ） 研修会およびペンクラブ賞 授賞式の案内
3月		徳島ペンクラブ賞 表彰式 於：阿波観光ホテル	第1部 表彰式 第2部 研修会（講師：外部講師） 第3部 懇親会（ランチ会食） ペンクラブ選集について感想を語り合う
		とくしま随筆大賞 企画	募集要項作成 後援依頼

その他

- ① 役員会：毎月1回実施します。
基本的に第3土曜日10:00~12:00（会場の都合で変更の場合もあります）
- ② 各事業については企画委員会を開いて原案を作成し、役員会で決定します。

令和元年度 収支予算

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

A 収入総額	2,050,399円
B 支出総額	2,050,399円
C 差引額	0円

A 収入の部 (単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	内 訳
会 費 収 入	670,000	650,000	平成31年度会費 5,000円×134人=670,000
負 担 金 収 入	770,000	700,000	選集 Part37掲載料 530,000 会合出席者負担金 総 会 6,000円×40人=240,000
補 助 金 収 入	380,000	755,000	県民文化祭助成金・三好市 300,000 徳島新聞社 80,000
寄 付 金 収 入	10,000	3,000	各種寄付金他 10,000
雑 収 入	70,004	20,006	ペンクラブ選集等売上代金 70,000 利息 4
前年度繰越金	150,395	247,712	
計	2,050,399	2,375,718	

B 支出の部 (単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	内 訳
事 業 費	1,100,000	1,100,000	選集 Part37印刷代 800,000 ペンクラブ通信印刷代 100,000 とくしま随筆大賞賞金等 100,000 講演会・研修会 100,000
通 信 費	250,000	250,000	選集・通信発送費 150,000 その他発送費他 100,000
会 議 費	280,000	300,000	理事会・役員会等 40,000 総会 240,000
諸 会 費	10,000	10,000	徳島市文化協会会費等
慶 弔 費	20,000	20,000	
事 務 費	10,000	10,000	事務用品代他
特別事業費	300,000	350,000	県民文化祭参加事業「徳島の建造物」展 300,000
雑 費	20,000	40,000	振込手数料等
予 備 費	60,399	295,718	
計	2,050,399	2,375,718	

※各科目間の流用を認める

ペンクラブ選集 Part 37 作品提出のお願い

○特集及び一般作品

* 特集作品……「歴史的建造物の魅力」

県民文化祭参加事業「徳島の歴史的建造物の魅力」展
に関連した作品

* 一般作品……特集以外の作品(従来どおり)

○作品原稿

見開き2ページ2000字を基本として偶数ページ

(写真、イラスト等入れる場合はその分文章を短く)

ペンクラブ賞が二部門になったため作品にジャンルを記入
または、同封の整理票を添付

○掲載負担金

見開き2ページ7000円(追加1ページ2000円)
後日会計から送付の郵便振替等でご負担ください。

○原稿の締切と送付先

一般作品……9月30日

特集作品……10月25日

〒771 1273

板野郡藍住町勝瑞字正喜地九三の一〇 上窪則子宛

電話(携帯) 080 5665 5247

メール norikok@mx1.netwave.or.jp

入賞おめでとうございませう。

本会会員 敬称・略

「第23回えひめ俵口全国連句大会」

愛媛県知事賞 三輪 和、

二橋満璃、愛媛朝日テレビ賞 関真由子、竹内 菊、東條土郎、

二橋満璃、三輪 和。俵口実行委員会会長賞 三輪 和、東條土

郎、二橋満璃。

新入会員

(敬称略)

坂井 陽 〒770 0861

徳島市住吉2丁目9の28(高木純理事)

神原 常経 〒774 0030

阿南市富岡町西新町30(再入会)

訃報

秋田 忠 昭さん(平成31年4月逝去)

長年にわたり徳島ペンクラブにご尽力いただきました。ご功績に
深甚なる感謝を申し上げ、心からのご冥福をお祈り申し上げます。
(合掌)総会にはじまり、今年度も「ペンクラブ」が始動
します。春の文学散歩は、諸般の事情で延期になりました
が、楽しみはあとに回して、ということもあります。
ご期待ください。初めての「まちかど朗読会」は盛況のうちにおわ
りました。短期間の準備でしたが、皆さんの協力の
たまものです。今後とも、会員各位の参加でイベン
トを成功に導きたいものです。

編 集 後 記